平成２４年５月８日

各　　位

会 社 名　株 式 会 社　　魚　　力
代表者名　代表取締役社長　中田雅明
（コード番号　7596　東証第２部）
問合せ先　経営企画室長　　尾後貫隆
（ TEL. 042 － 648 － 8868 ）

中期経営計画 ～「新生魚力」クリエーションプラン策定に関するお知らせ

当社はこの度、平成 25 年３月期から平成 27 年３月期までの３カ年における中期経営計画 ～「新生魚力」クリエーションプランを策定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．「新生魚力」クリエーションプラン策定の背景

当社は、「安心・安全・満足」を経営理念に掲げ、鮮魚専門店として多くの方々にご満足いただけるよう、誠実な商売を貫いて参りました。一方で、社会環境の変化に伴い、今まで以上に企業は社会的責任（ＣＳＲ）を果たすことを要請されています。

そこで、当社では中期経営計画～「新生魚力」クリエーションプランを策定して、当社のステークホルダー（お客様・株主様・従業員・お取引様・社会）に対して予め利益計画を明示するとともに、その計画に基づき、企業としての社会的責任を果たすべく、会社経営の礎とするものであります。

２．「新生魚力」クリエーションプラン策定の趣旨

平成 23 年度は、東日本大震災発生後の消費マインドの冷え込みや福島第１原子力発電所の事故による放射能汚染、また、これによる風評被害などの影響が大きく、加えて欧州経済・金融不安や、急激な円高の進行、株価低迷なども相まって、厳しい経営環境が続きました。

また平成 24 年度以降、これらの環境が大きく改善されることは考えにくく、昨今の魚離れの進行に加え、お客様の放射能汚染に対する目はますます厳しくなるとともに、海外の魚食普及や原油高に起因する魚価の高騰など、魚を取り巻く環境はより一層厳しくなるものと考えております。

その環境下、当社は昨年度より「改革の断行」を経営目標に掲げ、業績の回復に向けて取り組んでまいりましたが、更に収益力を回復し強い魚力の復活を目指すため、全社員が一丸となり改革を推進するとともに、今後計画的な会社経営を実現するべく３カ年の「中期経営計画」を策定するものであります。

３．目標とする経営指標（平成 27 年３月期）

■ 売上高営業利益率７％の達成

■ １株当たり純利益 100 円の実現

４．利益計画及び基本戦略

別紙、株式会社魚力中期経営計画（平成 25 年 3 月期～平成 27 年 3 月期）「新生魚力」クリエーションプランをご参照下さい。

※本資料は当社グループの計画、経営判断、業績予想などが含まれておりますが、これらは現時点での予測であり、実際の業績は様々なリスクや、不確定要素に左右され、本資料において確約するものではありません。従いまして、実際は国の諸施策、市場動向などの変動により大きく異なることになり得ることをあらかじめご了承下さい。

以　上

証券コード　7596

株式会社 魚力

中期経営計画（平成25年3月期~27年3月期）

「新生魚力」クリエーションプラン

平成24年　5月8日

「新生魚力」クリエーションプラン策定の背景

■厳しい経営環境の中、計画的な会社経営を実現するため、企業としての社会的責任を果たすべく中期経営計画を策定

経 営 理 念

安　心　・　安　全　・　満　足

厳しい経営環境

外部環境

・円高　・株式市場の低迷　・食料価格高騰
・欧州債務危機問題　・原油価格高騰

業　界

・放射能汚染　・魚食の衰退
・魚資源の枯渇化　・少子高齢化

■計画的な会社経営の実現
■改革の断行による収益力の回復
■企業としての社会的責任を果たす

■中期経営計画の策定
～「新生魚力」クリエーションプラン～

ステークホルダーに対して利益計画を明示する

お 客 様　株 主 様　従 業 員　お取引先様　社　会

「新生魚力」クリエーションプランの概要

■平成27年3月期末に売上高300億円、営業利益過去最高額22億24百万円の更新

■目標とする経営指標は売上高営業利益率7%の達成、1株当り純利益100円の実現

連結ベース

（ 単位　百万円，％ ）

	平成25年3月期			平成26年3月期			平成27年3月期		
	計画	前年比	売上比	計画	前年比	売上比	計画	前年比	売上比
売上高	25,600	101.0	100.0	29,300	114.4	100.0	32,900	112.4	100.0
営業利益	900	126.0	3.5	1,630	180.8	5.6	2,310	141.9	7.1
経常利益	900	108.2	3.5	1,630	180.8	5.6	2,310	141.9	7.1
当期純利益	550	130.5	2.1	1,010	182.9	3.4	1,480	147.4	4.5

単　　体

	平成25年3月期			平成26年3月期			平成27年3月期		
	計画	前年比	売上比	計画	前年比	売上比	計画	前年比	売上比
売上高	23,829	101.0	100.0	27,833	116.8	100.0	31,463	113.0	100.0
営業利益	900	126.0	3.8	1,607	178.6	5.8	2,279	141.8	7.2
経常利益	900	108.2	3.8	1,607	178.6	5.8	2,279	141.8	7.2
当期純利益	545	130.5	2.3	996	182.8	3.6	1,468	147.4	4.7

目標とする経営指標

■売上高営業利益率7%の達成

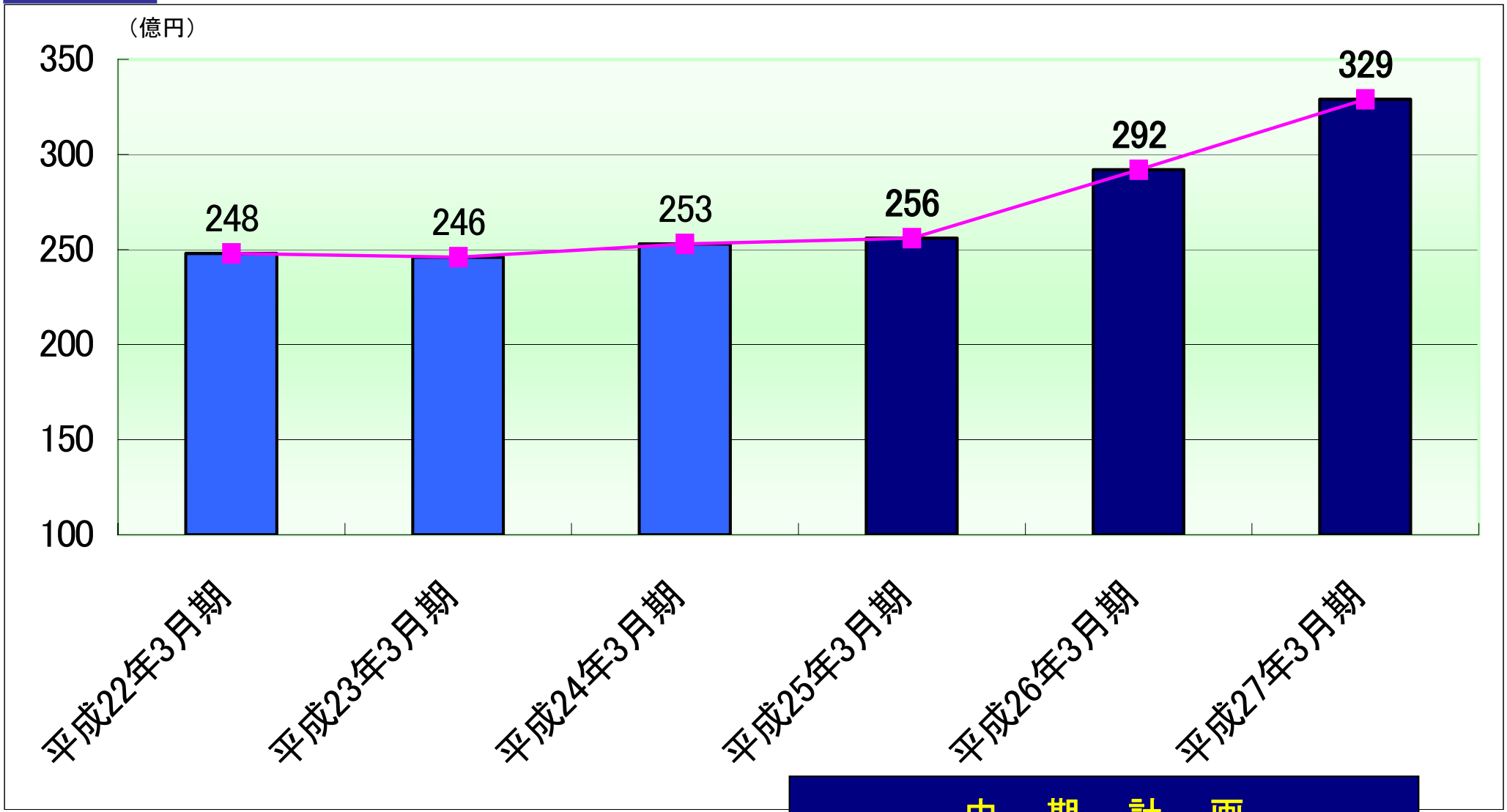
■1株当り純利益100円の実現

※発行済総株式数1,462万株として算定

売　上　高　計　画

売上高

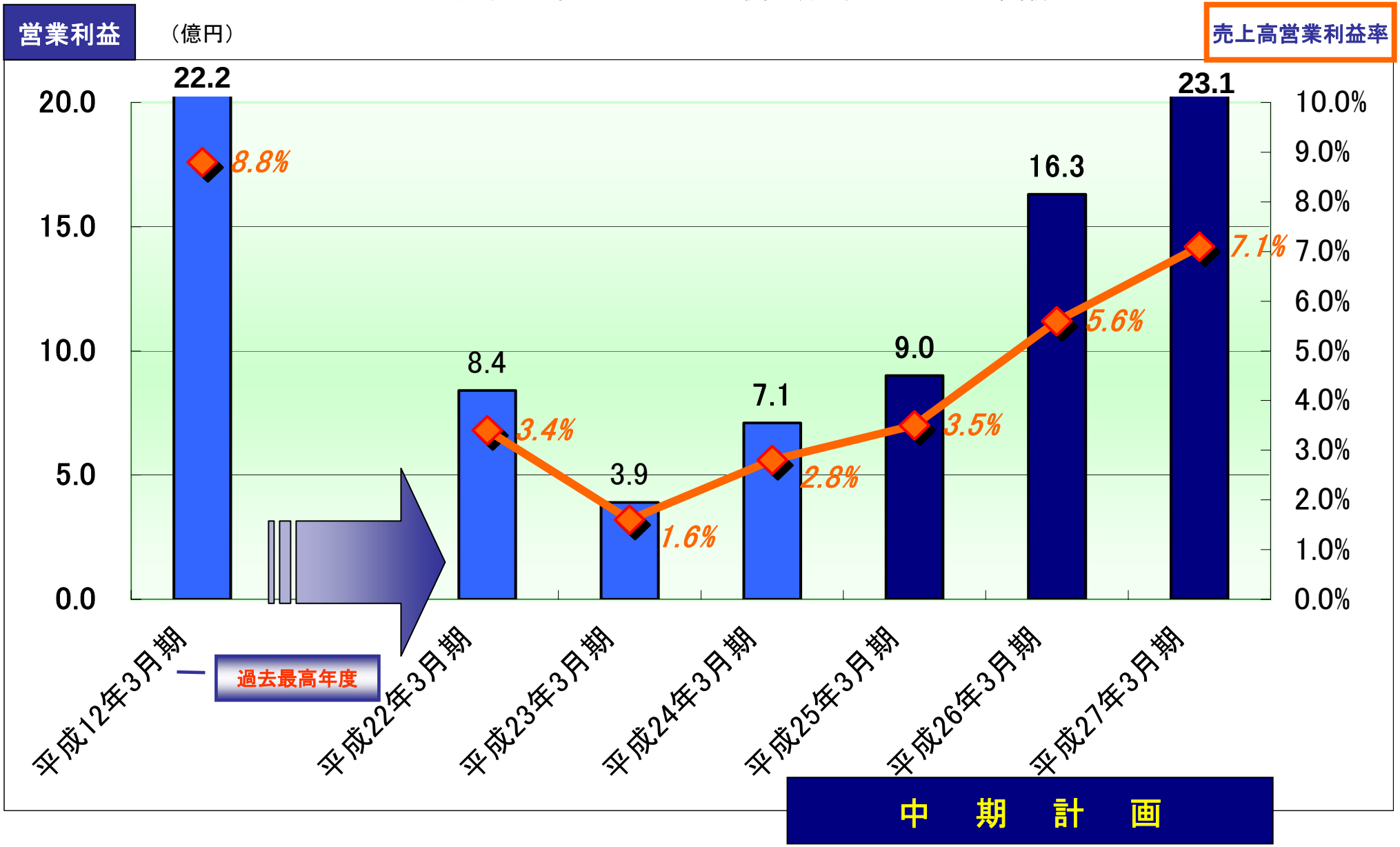
■積極的な出店戦略への転換による、売上高の拡大



中　期　計　画

営業利益・売上高営業利益率の計画

■平成27年3月期末に営業利益の過去最高額22億24百万円の更新



当期純利益 ・ 1株当り純利益

■平成27年3月期末に1株当り純利益100円の実現



中　期　計　画

基本戦略 （1）商品戦略

◆◇コンセプト◇◆ … 時代ニーズに対応した商品開発と業態別MDの確立

①駅ビル、百貨店、郊外スーパー等の出店業態別MD（品揃え、価格帯等）の確立

②鮮魚専門店ならではの冷凍食品（こだわり、お取り寄せ）・塩干商品の品揃え強化

③若者や子供の魚食離れに対応した新商品（定番品）の開発 （骨なし魚、洋風カルパッチョ等）

④株式会社ヨンキュウとの資本業務提携による養殖魚等の安定的な調達ルートの確保（漁業から養殖への移行）

⑤合弁会社設立による海外生産での価格競争力の強化と品質の高い調理済み商品（煮魚・焼魚）の販売強化

売場イメージ



調理済商品



基本戦略 （2）物流戦略

◆◇コンセプト◇◆ … 低温物流ネットワークの再構築

大田市場の仲卸業務許可書取得により新会社を設立

■大田市場における仲卸機能の活用と八王子事業センターの機能見直しによる物流ネットワークの再構築

■物流業者との連携による低温配送・鮮度管理システムの再構築 （アウトソーシングの活用）

■店舗オペーレーションに対応した納品システムの開発 （店着時間・納品形態）

中央卸売市場





八王子事業センター



基本戦略 （3）営業戦略

◆◇コンセプト◇◆ … お客様から愛される地域一番店づくり

■出店地域の商圏特性に合わせた、品揃え、売場づくり、店づくりの推進

■部門別損益管理による収益構造の改善

■小型店の収益構造の改善（モデル店舗の確立）

■IT化の推進による店舗オペレーションの標準化

鮮魚対面販売コーナー



マグロコーナー



お造りコーナー



基本戦略 （4）出店戦略

◆◇コンセプト◇◆ … 100店舗体制に向けての積極的出店への転換

出店戦略の基本的な考え方

■駅ビル、駅近の物件を中心とした小売店舗の出店 ⇒ 有望新規物件の事前交渉の強化

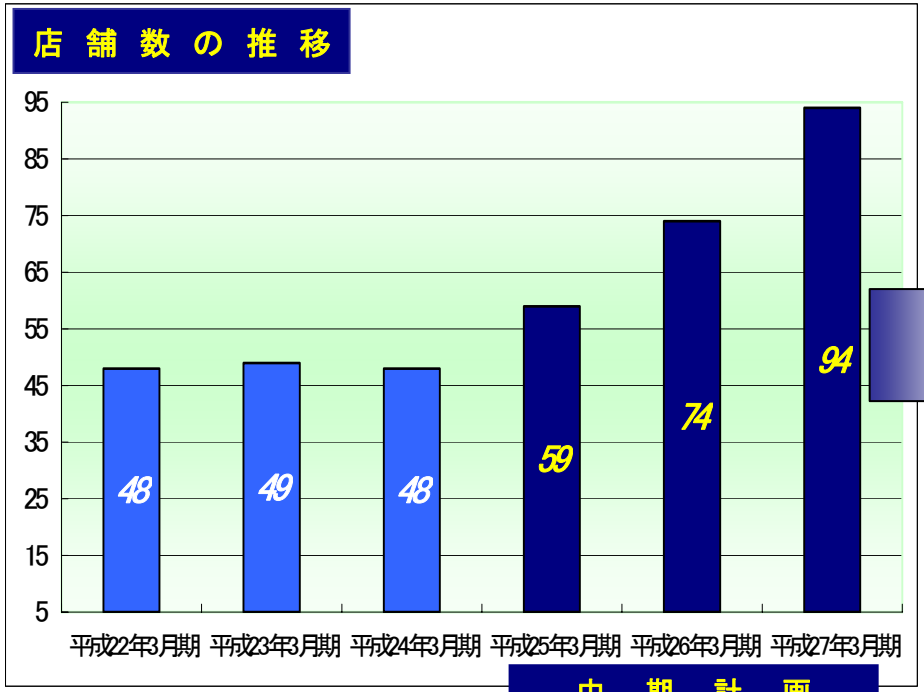
■首都圏近郊での「小型店」の出店加速 ⇒ モデル店舗の出店拡大

■駅ビル、百貨店を中心とした 「寿司のテイクアウト専門店」 の出店加速

■年度別出店店舗数 （単位 店）

	業 態	平成24年3月期	平成25年3月期	平成26年3月期	平成27年3月期
出店数	大型店	0	1	0	0
	中型店	1	2	3	3
	小型店	0	5	7	7
	寿司専門店	1	3	5	10
	合 計	2	11	15	20
期末店舗数	全店計	48	59	74	94

※業態別年間売上高：大型店 6億円以上/中型店4億円/小型店2.4億円



100店舗体制へ

基本戦略 （5）人事戦略

◆◇コンセプト◇◆ … 100店舗体制を視野に入れた経営幹部の早期育成

■経営幹部（本部幹部・店舗幹部）の教育プログラムの開発

■社員の教育体系の抜本的見直し

■パート、アルバイトの早期戦力化、職域拡大のための教育プログラムの開発
⇒職能給導入に向けた土壌づくり

■店舗の適正人員の見直し

■報奨制度の新設によるモチベーションアップ

集合研修



技術研修



基本戦略 （6）事業戦略

◆◇コンセプト◇◆ … 経営資源再配分による企業価値の最大化

■総合的な海産流通業への展開

資本業務提携

株式会社 ヨンキュウ
（平成24年2月17日業務提携）
・養殖魚の安定供給

出資 3.5%

合弁会社

松岡インターナショナル株式会社
（平成24年4月11日設立）
・調理済煮魚、焼魚等の製造、販売

35%出資　35%出資

オカムラトレーディング株式会社

松岡水産株式会社

出資 30%

株式会社 魚力

・鮮魚・寿司の小売、飲食店の経営

M & A

出資 100%

株式会社 大田魚力
（平成24年6月1日設立予定）
・海産物の国内外への卸売

出資 100%

ウオリキ・フレッシュ・インク
（アメリカ・ニュージャージー州）
（平成20年2月6日設立）
・米国内の魚介類卸売

本資料に関する注記事項

本資料には、当社及び当社グループの計画、経営判断、業績予想などが含まれて

おりますが、 これらは現時点での予測であり、実際の業績は様々なリスクや不確定

要素に左右され、本資料において確約するものではありません。従いまして実際は、

国の諸施策、市場動向等の変動により大きく異なることになり得る事をあらかじめ

ご了承下さい。